1 題材名 ふわふわ言葉でスマイル名人

2 題材について

本学級は、6名の児童で構成されている。特性は様々であるが、多くの児童にこだわりが強い部分が見られ、集団の雰囲気に合わせて活動することが難しい。また、友達の立場や気持ちを考えず、相手を傷つける言葉を使ったり、友達に譲れなかったりする等、円滑な人間関係を築くことに課題がある。そのため、個別や小集団の自立活動の時間には、人と関わる時のルールやマナーを身に付けるために、ソーシャルスキルトレーニングや協力ゲーム、伝え合い活動等を行っている。

本題材では、自立活動の内容のうち、「人間関係の形成」「コミュニケーション」に重点を置いて指導する。安心できる小集団の中で、友達との話を受けてやり取りをする経験を重ねられるようにしたり、ゲーム等を通して適切な言葉を使ったりすることができるようにして、楽しみながら友達とのやり取りや関わり方を身に付けていくことをねらいとしている。

指導に当たっては、学習の流れを提示し、見通しがもてるようにしたり、短時間の活動を組み合わせ、集中して取り組んだりできるようにする。「ふわふわ言葉」や「ちくちく言葉」について考える際には、場面設定が分かりやすい動画視聴をすることで、相手の気持ちを想像しやすくし、ロールプレイやゲームを通して、ふわふわ言葉を使うことができるようにする。このような経験を重ね、友達と笑顔で過ごすことのよさを実感させ、自信をもってコミュニケーションを取ることができるようにしたい。

3 児童の実態と個別目標

	7世の大心と 間が11 水						
児童	題材における実態	題材における目標(自立活動)					
Α	・人と関わることは好きであるが、気に入らないことが	・相手の気持ちを想像し、ふわふわ言					
	あると教師や友達に乱暴な言動が見られる。	葉を使って友達と仲よく活動する					
	・みんなで行動することが苦手で、参加できないことが	ことができる。					
	多い。	⟨3-(1)⟩					
В	・決められたことに真面目に取り組むことができるが、	・その場に応じた適切な言葉を使い					
	こだわりが強く、臨機応変に行動することが難しい。	ながら、友達とコミュニケーショ					
	・相手の気持ちを考えずに、思ったことを口に出してし	ンを取ることができる。					
	まうところがある。	⟨6-(5)⟩					
С	・気持ちが穏やかで、友達や下級生と楽しく活動でき	・友達と関わり合う中で、相手の気持					
	る。	ちを考え、ふわふわ言葉を使うこと					
	・言葉足らずなところがあり、言いたいことが相手に伝	ができる。					
	わりづらい。	⟨6-(5)⟩					

4 指導計画と評価 (3時間扱い ○は本時)

- 11							
\/h +	時	学羽内容, 泛動	主な評価				
次	叶	学習内容・活動	A	В	С		
1	1	○ふわふわ言葉を使おう	・相手の気持ちを想	・その場に応じた適	・友達と進んで関		
	本	ふわふわ言葉やちくちく	像し、ふわふわ言	切なふわふわ言	わり、ふわふわ		
	時	言葉について考える。	葉を考えること	葉を考え、友達に	言葉を適切な場		
		・ロールプレイを行う。	ができる。	使うことができ	面で使うことが		
		風船バレーをする。		る。	できる。		
	2	○ゲームの準備をしよう	・友達の気持ちを考	・友達の気持ちを考	・友達や下級生の		
		・みんなでやりたいゲーム	え、ふわふわ言葉	えながら、ゲーム	ことを考え、優		
		について相談する。	を意識しながら	の内容を考えた	しい言葉掛けを		
		・ゲームに使う道具を作っ	仲良くゲームの	り、準備をしたり	しながら準備を		
		たり準備したりする。	準備をすること	することができ	することができ		
			ができる。	る。	る。		
	3	○なかよくゲームをしよう	・相手の気持ちを想	その場に応じた適	・友達と関わり合		
		・ふわふわ言葉で励まし合	像し、ふわふわ言	切な言葉を使い	う中で、相手の		
		いながら、ゲームを行う。	葉を使って友達	ながら、友達とコ	気持ちを考え、		
		・名前ボール	と仲よく活動す	ミュニケーショ	ふわふわ言葉を		
		・バランスお手玉運び	ることができる。	ンを取ることが	使うことができ		
		協力クレーンゲーム		できる。	る。		

5 本時の指導

(1) 個別目標

- A:相手の気持ちを想像し、ふわふわ言葉を考えることができる。 (3-(1))
- B:友達と関わり、その場に応じた適切な言葉を考え、使うことができる。 〈6-(5)〉
- C:友達と進んで関わりながら、ふわふわ言葉を適切な場面で使うことができる。 〈6-(5)〉

(2) 準備·資料

- ・PC ・プロジェクター ・タブレット ・表情カード ・ワークシート ・役割カード ・風船
- ・掲示物(・活動の流れ・まねっこ遊びのイラスト・ふわふわ、ちくちく言葉・場面絵)

(3)展開

(3)展開			
学習内容・活動	教師の指導・支援と評価	fi(◎ 評価【合理的i	配慮】)〈自立活動〉
	A	B	C
1 挨拶と活動内容の確	・正しい姿勢を意識し、元気 ちを向けられるようにす		ように促し、学習に気持
ふわふわことばを使お	・本時の学習全体の流れを	つかんで全体の見通	
う。	課題と学習内容をホワイ ・各自の目標を確認するこ	とで、目標に向かっ	。 (構造化) て頑張ることができる
①あいさつ	ようにする。		
②ウォームアップ		質問タイムを設けて 質問できるように	・背筋を伸ばし、よい 姿勢で号令ができ
③スマイル学習	る。活動内容を個別	し、見通しをもち安	たら称賛する。活動
④ふわふわ風船バレー		心して活動できる ようにする。	内容が理解できた か個別に確認する。
⑤ふりかえり・あいさつ		[①-2-3]	
2 ウォームアップを行 う。	体を動かし、楽しい雰囲気できるようにする。	気をつくることで、安	心して取り組むことが
)。 「みんなでまねっこ」 	・表情カードと言葉で気持 なれるよう支援する。	ちを表したことを称	賛し、みんなが笑顔に
3 スマイル学習	・どのような言葉が「ふわる		
(1) ふわふわ言葉とち くちく言葉につい	の生活場面から具体例を ・場面絵に吹き出しをつけ		
て考える。	・ロールプレイの場面を録	画しておくことで、	自分や友達のよさや頑
(2)動画「うれしい言	・教師の言葉掛けを受 ↓・計		(視覚化) ・1年生を気にかけ、
葉の魔法」を視聴	け、近くで見守るこ	るようネームプレ	リードしたり、優し
する。		ートを準備し、スム ーズに活動できる	い言葉掛けをした りできたときには
(3) チャレンジ	にする。	ようにする。	称賛する。
①場面絵を見て、適 切な言葉をワーク	【①-2-3】 ②教師や友達の助言 ②)	【①-1-1】 ロールプレイを通	【①-2-1】 ◎友達と進んで関わ
シートに書く。	をもとに、相手の気	して友達と関わり、	りながら、適切な場
「水をこぼしてしま った人へ」		その場に応じた適切な言葉を考え、使	面でふわふわ言葉 を使うことができ
「縄跳びがうまくで		うことができたら	たら目標達成と捉
トライン きない人へ」 ②ロールプレイを行	標達成と捉える。 「	目標達成と捉える。	える。 (ワークシート)
う。	$\langle 3-(1)\rangle$	$\langle 6-(5)\rangle$	(ワークシート) 〈6-(5)〉
4 ふわふわ風船バレー をする。	ペアを変えながら風船バー	レーを行う。 残りの-	一人は、活動している様
(1) ふわふわ言葉を使	子を見守りながら、二人 させる。	にとのよりな言条街	りをしたりよいか考え
う。	・事前に個別で練習を・失	た敗しても大丈夫と 三葉を押け、安さし	・率先して友達と関わ
 (2) 友達と協力する。	して、落ち着いてゲー i ームに参加できる	言葉を掛け、安心し て活動できるよう	り、ふわふわ言葉を 使っているときに
		にする。 【①-2-3】	は称賛する。 【①-2-1】
		LU-4-3 達のよいところや自	分の頑張りを発表した
拶をする。	り認め合ったりして、次即	寺の活動の意欲へつた	なげる。 (共有化)
	・個々のできたことや頑張 高まるようにする。	ったことを具体的に	称賛し、自己肯定感が
	川よるよりにする。		